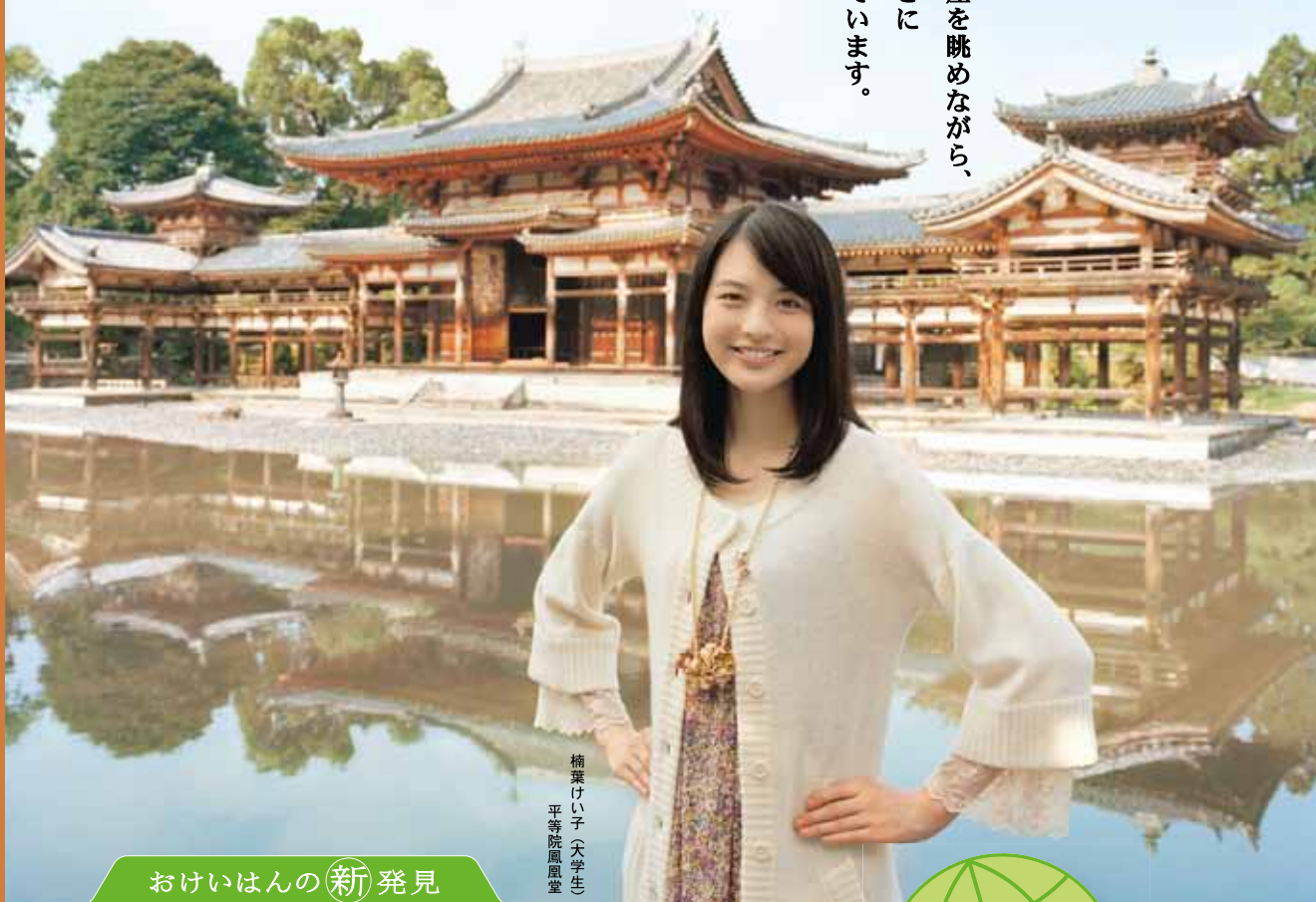


世界文化遺産を眺めながら、
日本の美しさに
惚れなおしています。



楠葉けい子(大学生)
平等院鳳凰堂

おけいはんの新発見

この秋、世界のUJIへ。

平等院や源氏物語、世界に誇る宇治の街へ、京阪電車で。



びやうどういんほうおうどう
【平等院鳳凰堂】
“極楽浄土”をあらわした
優美な世界文化遺産に感動。



こうしやうじ
【興聖寺】
参道の「琴坂」はまさに
胸高鳴るほど見事な紅葉。



うじかみじんじや
【宇治上神社】
貴重な世界文化遺産！
日本最古の神社建築です。



【宇治橋】
源平合戦の舞台にもなった
宇治川にかかる名橋です。



【宇治市源氏物語ミュージアム】
華やかな展示に囲まれて
物語のなかの世界へ！



うじじやうじやうこせき
【宇治十帖古跡】
源氏物語の十カ所ある跡を
巡れば自分の恋物語も。

まだまだ見どころ
たくさん！

- 【仏徳山展望台】
- 【三星園上林三入本店】
- 【十三重石塔】



おけいはん 検索
www.okeihan.net

月刊島民

中之島

Vol.27 2010 10/1

●iPadサイズ (と、ほぼ同じ)

橋を渡る人の「街事情」マガジン



ナカノシマ大学

橋爪紳也^{ほか}

「京阪沿線文化サミット
in 中之島」

申し込み受付中!

すごいぞ! 懷徳堂



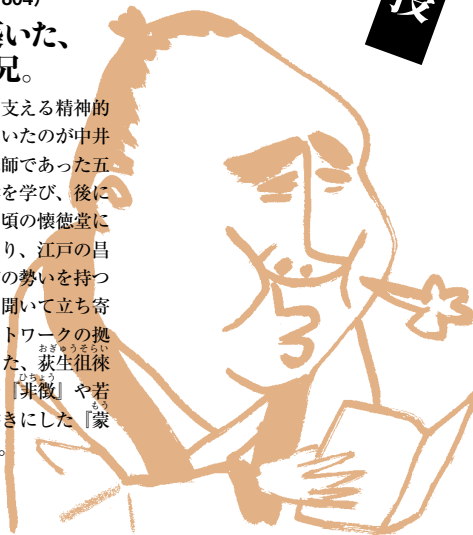


中井竹山

なかいちくざん(1730～1804)

「黄金時代」を築いた、
中井ブラザーズ兄。

懷徳堂の学風や運営を支える精神的支柱として、最盛期を築いたのが中井竹山である。懷徳堂の講師であった五井蘭洲に師事して朱子学を学び、後に第4代学主に就任。この頃の懷徳堂には、全国から学生が集まり、江戸の昌平坂学問所をも凌ぐほどの勢いを持つ黄金時代であった。噂を聞いて立ち寄る文人も多く、知的ネットワークの拠点となっていった。また、荻生徂徠の『論語徴』を批判した『非徴』や若者向けに人の道を箇条書きにした『蒙養篇』などの業績がある。



教授

三宅石庵

みやけせきあん(1665～1730)

「ええとこ取り」推奨。
自由な気風の産みの親。

京都に生まれ、父の影響で小さい頃から学問を好んだという秀才。江戸、讃岐に滞在した後、30代半ばで大坂に私塾を開いた。享保9年(1724)の大火のため、一時、平野に避難していたが、懷徳堂の設立にあたって五同志に迎えられて懷徳堂の初代学主に就任した。さまざまな学問の良いところはなんでも取り入れるため、「鶴学園」と呼ばれて批判されることもあったが、懷徳堂の学風の大きな特徴であるリベラルさは、石庵によってその基礎が築かれたと言えるだろう。

堂列伝

かいとくどう

懷徳堂にまつわる知られざる偉人たち

享保9年(1724)、現在の淀屋橋近くに誕生した懷徳堂。

知られざるその歴史を紐解いてみると、
才気溢れる知性が集い、大きな業績を残す学問所だった。
何より自らの人間的成長のために学ぶというスタイルは、
現代においても見習うべきところが多い。

大阪という街のエートスを色濃く映した懷徳堂の学びとは？

まずは懷徳堂が生んだ偉人たちの姿から見ていこう。

特集取材・文／大迫 力(P2,3,7) 松本 創(4,5,6,8) イラスト／奈路道程 写真提供／大阪大学



山片蟠桃

やまたたばんとう(1748～1821)

広大な思想を展開した
知の巨人。

播州に生まれ、大坂の豪商・升屋の本家に奉公。後には番頭として手腕を振るった(だから「蟠桃」と号した)。入門後は中井竹山や中井履軒を師と仰ぎ儒学、蘭学を学ぶ。また「先事館」を開いた町人学者・麻田剛立に天文学を習った。代表作の『夢ノ代』では地動説に基づく大宇宙説や、鬼神・霊魂など迷信的存在を否定した無鬼論を唱えるなど、実証的で合理主義的な思考に基づく思想を展開した。地理・歴史・法律・経済など多方面に及ぶ思想の広がり、懷徳堂の学風そのもの。



草間直方

くさまなおかた(1753～1831)

商売のために学んだ
商人出身の経済学者。

商人として山片蟠桃と同時期に大坂で活躍し、また懷徳堂では蟠桃と同様に中井ブラザーズのもとで勉学に励んだ。晩年に隠居してからは、日本初となる貨幣史『三貨図彙』全44冊を著し、古代から江戸時代に至るまでの貨幣の歴史を紹介。同時に貨幣経済の発展について歴史的な考察を加え、幕府による米の値段の統制を批判した。懷徳堂では多くの商人が自分たちの商売のために学んでいたが、草間直方はその典型的な人物の一人であったと言えるだろう。

門下生



監修／湯浅邦弘（大阪大学大学院教授）
大阪大学が誇る懷徳堂研究のエキスパート。専門は古代中国哲学。『論語』『孟子』などの古典研究を介して、これらを教科書として学んだ懷徳堂の歴史についての研究に辿り着く。懷徳堂で説かれた学びのスタイルは、現代にも役立てられる部分は多いと指摘する。

並河寒泉

なみかわかんせん(1797～1879)

行動力に溢れた、
懷徳堂最後の学主。

17歳の時に伯父で第6代学主の中井碩果の門に入る。伯父の死去に伴い44歳で第7代学主となった。講義日程を遵守し、門人を武士や役人層にまで広げ、大坂町奉行に援助を願い出るなど、懷徳堂の経営・維持のために奔走。また文庫の建築、中井竹山が書いた『逸史』を刊行するなどの事業を進める行動派だった。しかし、幕末の動乱の影響もあり、明治2年(1869)に閉校。寒泉は「百余り四十路四とせのふみの宿けふを限りと見かへりて出づ」という万感こもる歌を残して去っていった。

中井履軒

なかいりけん(1732～1817)

何でも知ってる、
中井ブラザーズ弟。

研究業績の多彩さでは中井履軒がナンバーワン。竹山の2歳下の弟で、兄と共に朱子学を学んだ。第5代学主を務めた後、履軒は懷徳堂を離れて私塾「水哉館」を開き、中国の儒教經典についての膨大な研究を残した。その研究の精緻さは、富永仲基や山片蟠桃らとともに近代的英知の先駆けとも賞される。その一方、自邸を中国古代のユートピア「華胥国」になぞらえ、「華胥国王」と名乗るなど風変わりな一面も。人体解剖図や天体模型など自然科学でも優れた業績を残す奇才であった。

多士々
多濟

懷徳



中井木菟麻呂

なかいつぐまる(1855～1943)

懷徳堂の再建のために
生涯を捧げる。

中井竹山の曾孫にあたる木菟麻呂は、懷徳堂内で生まれ、14歳の時に閉校を目の当たりにした。その後、中井家に伝わる書籍などの保管、関連資料の収集、懷徳堂の再建に努めた。大阪朝日新聞社の記者で、懷徳堂記念会を設立した西村天因らの協力もあって重建懷徳堂の設立が果たされると、中井家に伝わる史料を寄贈。懷徳堂の姿が現在にも伝わっているのは、木菟麻呂の存在を抜きにしては語れない。

五同志

ごどうし

学びの場のために
立ち上がった商人たち。

懷徳堂の設立にあたって出資した5人の商人のこと。長老役の三星屋武右衛門、敷地を提供した道明寺屋吉左衛門、毛綿問屋業を営むかたわら自らも三宅石庵の私塾に学んだ舟橋屋四郎右衛門、同じく石庵に学んだ材木問屋の備前屋吉兵衛、豪商・鴻池の別家である鴻池又四郎の5人。このように商人が学問に身を入れることができたのも、それだけ当時の大坂の経済力が高まっていたためとされる。

設立者

富永仲基

とみながなかもと(1725～1746)

独創的な研究を残した、
夭折の天才。

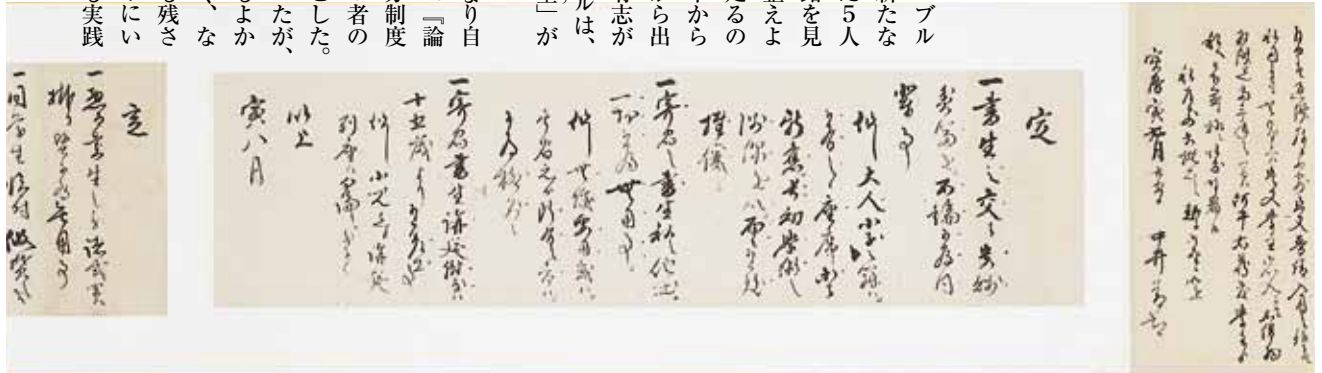
懷徳堂が生んだ町人学者の代表的存在。父は懷徳堂の設立者の1人である道明寺屋吉左衛門で、初代学主・三宅石庵に学ぶ。儒家思想を批判した書を著して石庵に破門されたとの説もあるが、真偽は不明。仏教研究書『出定後語』で唱えた「加上論」は、仏教の經典をはじめ、あらゆる思想はより古い思想に説を付け加えることで発展してきたとするもので、仏教界から批判の声も挙がった。しかし東洋史学の内藤湖南をはじめ、高く評価する声も多く、21歳で亡くなったことが惜しまれる。

懷徳堂の
ここがすごい！①

【理念】

懷徳堂設立の背景には、元禄バブルの崩壊がある。世相が混乱し、新たな指針を求めていた時代。出資した5人の豪商たちは「学ぶこと」で針路を見出し、商売の基本となる倫理を整えようとした。目先の儲けや利殖に走るのではなく、商道德や生き方を根本から見直そうという発想が商人自身から出てきたのがすごいところ。町人有志が出資・運営する学問所のスタイルは、大坂南部の平野にあった「含翠堂」がモデルとなった。

「懷徳」とは「徳を懐う」、つまり自己の内面の道徳を見つめること。「論語」の言葉が出典とされる。身分制度の厳しい時代でありながら、学ぶ者の貴賤貧富を問わず、みな同輩とした。学費は15歳から収める決まりだったが、貧しい者は半紙一束、筆一本でもよかった。だから教授の生計は苦しく、ないないづくしの生活を嘆いた詩も残されている。「公益性を持つて職業にこそしめ」との教えを、教授自身も実践していたということか。



竹山らが懷徳堂の教育基本方針を示した「宝暦八年定書」。

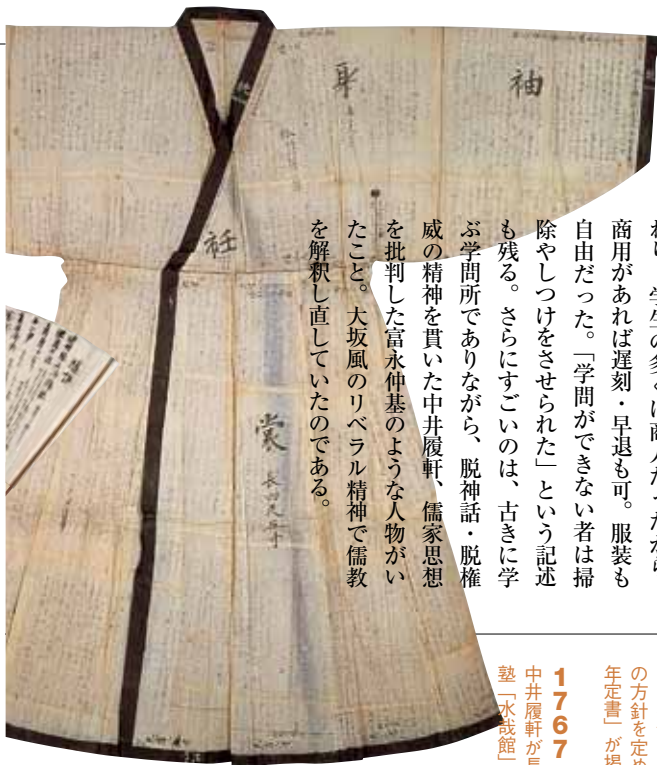
懷徳堂の
ここがすごい！②

【学風】

懷徳堂の学問の基盤は朱子学、つまり儒教。君主に対する「忠」、親に対する「孝」という封建的な思想を説いていたにもかかわらず、その授業は極めて自由、気風もリベラルだったというから面白い。

間仕切りを取れば100人ほどが入る部屋。一番奥に教授、部屋の左右に助教が座り、それぞれの周りに学生が輪をつくった。絵馬のような木を打ち鳴らす「木司令」が開講のチャイム代わり。学生の多くは商人だったから、商用があれば遅刻・早退も可。服装も自由だった。「学問ができない者は掃除やしつけをさせられた」という記述も残る。さらにすごいのは、古きに学ぶ学問所でありながら、脱神話・脱權威の精神を貫いた中井履軒、儒家思想を批判した富永伸基のような人物がいたこと。大坂風のリベラル精神で儒教を解釈し直していたのである。

右/木司令は檜の木製。3度に分けて打ち鳴らし、学生に準備を促した。左/履軒が使った「紙製深衣」と「聖賢扇」。前者は、中国古代の服を再現したもの。後者は、歴代の聖賢や学者を酒にとえて寸評を記した扇。



懷徳堂 「事件」年譜

1724 (享保9)

懷徳堂創設。五同志を中心とする大坂商人たちが尼崎町1丁目(現在の中央区今橋3)に学舎を建て、初代学主(教授)に三宅石庵を迎える。

1726 (享保11)

幕府の公認の学問所として正式に認められる(官許という)。これにより「大坂学問所」とも呼ばれることになり、半官半民の学校として新たなスタートを切る。

1758 (宝暦8)

第3代学主に三宅春楼、預かり人(校務責任者)に中井竹山が就任。教育の方針を定めた「宝暦八年定書」が掲示される。

1767 (明和4)

中井履軒が長堀に自らの塾「水鏡館」を開く。



人体解剖図15枚を筆写し、解説した『越俎弄筆』。



全13巻からなる徳川家康の一代記『逸史』。



履軒が作った天図。木製で、現在の地動説・天動説を折衷した形になっている。



履軒の経学研究の集大成となった『七経逢原』。

業績

懷徳堂の
ここがすごい！⑧

最も研究業績が多い中井履軒は、中国の儒教経典を研究する「経学」の大家だった。既存のテキストの欄外に自説を書き加えた『七経雕題』に始まり、最終的に33巻にも及ぶ大著『七経逢原』を完成させる。回転式天体模型「天図」を作ったり、杉田玄白らの『解体新書』より1年早く人体解剖図説『越俎弄筆』を著したり、自然科学にも通じた。知

の巨人だった。その兄の竹山は、江戸儒学の大家である荻生徂徠を批判した『非徴』や、徳川家康の一代記『逸史』などを書いた。豊臣びいきの大坂の人々が家康の功績を正當に評価しないことを憂いてのことだ。

他にも宗教経典の分類・発展史を「加上論」として確立した富永仲基。地動説や無神論を唱え、オカルトを戒めた山片蟠桃。歴史に学びながらも権威に媚びず、世評や常識にとらわれず。近代英知の先駆けとなるすごい研究が懷徳堂から続々と生まれたのである。

1782 (天明2)
中山竹山が第4代学主に就任。懷徳堂は最盛期を迎える。

1788 (天明8)
西国巡視中に大坂を訪れた老中の松平定信に竹山が召され、諮問を受ける。

1792 (寛政4)
大火により焼失。竹山らが再建に奔走、幕府と折衝を重ねる。

1796 (寛政8)
再建なる。総費用は700両余りだったが、幕府からの支給はわずか300両。不足分は、同志や門下生の協力で集めた。

1799 (寛政11)
竹山の筆による徳川家康の一代記「逸史」を幕府に献上。大坂町奉行を通じて献上を命じられたものである。

1854 (嘉永7)
ロシア軍艦が天保山沖に突如来航。外交文書を交わす際の漢文通訳を並河寒泉と中井桐園が務める。オランダ語通訳を担当した適塾生と交わる。

1869 (明治2)
懷徳堂閉校。幕末期の物価高騰などで経営が行き詰まった。

1910 (明治43)
懷徳堂の復興を目指し、懷徳堂記念会設立。

懷德堂の
ここがすごい①

【継承】

1869年（明治2）、幕末維新の動乱の中で懷德堂は閉校する。が、その後約40年に及ぶ西欧化一辺倒の世の中で、改めて懷德堂イズムが見直されることになる。中井竹山の曾孫の木菟麻呂、朝日新聞記者の西村天囚の尽力により、政財界も巻き込んで「懷德堂復興」の機運が盛り上がる。1910年には懷德堂記念会が設立。翌年、中之島で懷德堂の先賢たちを祭る式典が開かれ、1913年には「重建懷德堂」が現在の大阪商工会議所の地に完成した。中国や日本の古典の講義、人文科学の講演会などが開かれ、大阪大空襲で焼失するまで、大阪の市民大学としての機能を担った。

戦後の1949年（昭和24）、懷德堂記念会は蔵書史料を大阪大学へ寄贈。市民が「自前で学ぶ」精神が今も脈々と受け継がれているのが、懷德堂の、また大阪のすごいところである。



右／大正時代に再建された重建懷德堂。
上／重建懷德堂の完成を記念し、もとの懷德堂跡地に建てられた記念碑。淀屋橋の日本生命ビルの壁面に現在もある。



懷德堂を 行き交った すごい人「たち」。

交通・流通の要衝にあり、すごい学問所として天下に名を馳せた懷德堂には、さまざまな人が行き交い、知のネットワークの拠点となっていた。

たとえば、独自の研究で天文学を発展させた町人学者の麻田剛立は、故郷の杵築藩（大分）を脱藩後、しばらく身を寄せ、中井履軒らと交流した。『雨月物語』で有名な文人の上田秋成は青年期に懷德堂に通い、国学の素養を身に付けたという。飢饉に苦しむ庶民を救うべく決起した大塩平八郎も、幼少時には懷德堂で漢文の素読を学んでいる。

幕府からも注目された。老中の松平定信は来坂した際、当時の学主だった中井竹山に面会を求め、学問経世の道を尋ねた。老中が在野の学者に直接意見を聞くなどというのは異例のこと。この時の問答をもとに、竹山は『草茅危言』をまとめて献呈。定信の寛政の改革には、その知見が大いに活かされたという。

1916（大正5）

大阪市東区豊後町（現在の中央区本町橋）に重建懷德堂が開校。

1924（大正13）

機関誌『懷德』創刊。第二次大戦の戦中・戦後の一時は休刊したが、現在まで原則年1回の刊行が続けられている。

1939（昭和14）

中井木菟麻呂が、中井家伝来の資料を記念会に寄贈。

1945（昭和20）

大阪大空襲で講堂は焼失。が、書庫・研究室棟は焼け残り、3万6000点に及ぶ資料は守られた。

1949（昭和24）

新制大阪大学に懷德堂記念会の資料が寄贈され、「懷德堂文庫」と命名。本格的な学術調査が始まる。

1956（昭和31）

梅田の阪急百貨店で回顧展が開催。会場入口には「大阪人の誇り、懷德堂」と記された。

2008（平成20）

大阪大学21世紀懷德堂がスタート。

2009（平成21）

「21世紀の懷德堂プロジェクト」の一環として、月刊島民ナカノシマ大学がスタート。

よみがえる懷徳堂

残念ながら懷徳堂の建物は現存していない。しかし、その精神は現在も多くの人たちの手によって、さまざまな形となって受け継がれている。

取材・文/大迫力(本誌)



懷徳堂記念会

今年100周年を迎える懷徳堂記念会。財団法人となった現在の記念会は、主に在阪の有力企業から成る法人賛助会員をはじめ、個人賛助会員、普通会員らの寄附によって支えられており、こうした運営のあり方もまた懷徳堂の歴史を受け継ぐようで興味深い。最新号で76号を数える機関誌『懷徳』の発行に始まり、講座や見学会の開催など活動は多岐にわたる。特に今年はメモリアルイヤーを記念した企画も数多い。大阪歴史博物館での特別展のほか、11月27日(土)には堺屋太一氏や鷲田清一、大阪大学総長らが出演するシンポジウムも開催される。

懷徳堂の歩みを伝える展覧会。

100周年記念事業の中でも目玉と言えるのは、大阪歴史博物館で行われる特集展示「懷徳堂展～大阪“知”の源流～」だ。掛け軸や書画など貴重な史料が見られるだけでなく、それらの史料が修復される様子なども紹介され、懷徳堂を今に伝える試みそのものを目の当たりにできる。
日時/10月27日(水)～12月20日(月)
火曜休館(ただし11月23日は開館、翌24日は休館)
会場/大阪歴史博物館
(地下鉄谷町線・中央線谷町四丁目駅下車)
料金/600円 問い合わせ/06-6946-5728



重建懷徳堂が復元された!

重建懷徳堂は昭和20年(1945)の大阪大空襲により焼失したが、設計図面が見つかったことから、当時の設計・施工に当たった竹中工務店の厚意により、復元模型が制作された。50分の1サイズと100分の1サイズがあり、後者は大阪大学中之島センターで見られる。

大阪大学

懷徳堂を「精神的な源流」と位置づける大阪大学でも、懷徳堂を顕彰して現代にも活かそうという動きは盛んだ。大阪大学出版会からも関連書籍が出版されているが、本特集でも大いに参考にした『懷徳堂の歴史を読む』は、簡潔かつ面白く読め、入門書には最適。

懷徳堂のデジタルアーカイブ

大阪大学懷徳堂研究センターが管理する「WEB懷徳堂」は、資料の全容を検索できたり、貴重資料の画像や解説が読めるデータベース機能もあり、調べ物なら必見。
<http://kaitokudo.jp/>



大阪大学
21世紀
懷徳堂

多彩な学びの形を提供

阪大内の社会学連携事業を進める機関。時間割(P15)でも紹介している講座やワークショップの企画・運営を行っており、ジャンルを問わない豊富なラインアップが持ち味。



手前味噌ですが…

ナカノシマ大学

おかげさまで10月で1周年を迎える我がナカノシマ大学は、先述の21世紀懷徳堂とともに、「21世紀の懷徳堂プロジェクト」の一環として位置づけられている。まだまだ懷徳堂の歴史には遠く及ばないが、「街に学びの場を」の心意気は今後もしっかり継承していきたい。

10月は懷徳堂、11月は京阪沿線。

10月講座は「懷徳堂スーパースター列伝」。おなじみ釈徹宗先生(右写真)を聞き手としてスタートする「大阪の歴史をやり直す」シリーズの第1弾。さらに11月講座では橋爪紳也先生(左)を講師兼進行役に、今まで語られなかった京阪沿線カルチャーをみんなで考える「京阪沿線文化サミット in 中之島」を開催する。



キックオフセミナーが本に。

昨年10月のキックオフセミナー「21世紀は街場で学べ!」を元にした書籍『おせっかい教育論』(140B刊行/1,200円)が絶賛発売中! セミナーの内容に加え、鷲田清一・内田樹・釈徹宗・平松邦夫という奇跡のような顔ぶれが再集合し、さらに突っ込んだ教育談義を展開。さらに4人の書き下ろし原稿も収録した値打ちある一冊だ。

名言から読み解く

懷徳堂精神

湯浅邦弘 大阪大学大学院教授／懷徳堂研究センター長

懷徳堂の教えは過去の遺物ではない。いまこそ見直すべき教訓の宝庫だ。懷徳堂研究をライフワークとする湯浅邦弘先生が、さまざまな史料に残された名言から、現代にも通じるその精神を語る。

取材構成／松本 創本誌

その一 教育

「学校の衰へは、世の衰ふる基」

学校の衰へは世の中全体の衰へにつながる。これは「為政者が真つ先に整備すべきものは学校だ」と説いた孟子にならった言葉であり、また、奈良・平安朝から長く続いた戦乱の世において教育機関が廃れてしまったという歴史からの教訓でした。国家の力は軍事や政治、経済力で語られがちですが、そうじゃない。教育こそ国家100年の計であるというわけですね。

しかし、その教育も目的を誤ると意味がない。こんな言葉もあります。

「二生学問をして小人となる人多し」

耳が痛いですね。学問の目的は徳性を養い、人間性を高めることであつ

その二 人の道
「父母に善く事ふるを孝といひ、長上に善く事ふるを悌と名付け申し候」

親や年長者を敬うことの大切さを説いた言葉です。孔子は「論語」の中で、「孝」こそが人倫の根本だと言いましたが、親が子を可愛がり、子が親を思う気持ちには、たしかに最も人間の本能に近い。これができる人は、上司との関係、友人との付き合いもすべてうまくできる、というわけですね。

こうした中国古典の教えや価値観は、日本が近代化していく過程で、古臭く封建的なものとして排除されてきました。ずっとお手本にしてきた国に勝つてしまった日清戦争や、お上に対する忠義を尽くしたのに敗れた第二次世界大戦の影響も大きい。しかし、都市化と核家族化が進み、家庭内のつながりすら薄れつつある現在、もう一度見直す意味があるのではないのでしょうか。

その三 商い

「仁義をする者は、利はせねども、自ら利がついてまはるなり」

これは、商人の町であつた大坂ならではのですね。伝統的な儒教道徳では、「義（人の道）」と「利（儲け）」は厳

しく対立するものでした。しかし懷徳堂では異なる捉え方をした。仁義を実践する者は、利益は追求しないけれども、自然と利益がついてくる、と。つまり、倫理に基づいて世のため人のために商売をしていれば自ずと儲かるという教えです。利益第一で走るから無理が生じ、不正が起る。企業の倫理を説く言葉にも説けますよね。

近世大坂の商道徳の基盤を作った言葉には、こういうのもあります。

「商人の利は士の知行、農の作徳なり」

商業活動による利益は、武士の知行（土地支配による利益）、農民の作徳（年貢を納めた後に残る純益）と同じだという意味です。商人は、士農工商の身分制度で低い地位に置かれていたから、すごく勇気づけられたでしょうね。こうして、中国古典の教えを大坂流に解釈する獨創性や柔軟性が、懷徳堂にはあつたんです。



ナカノシマ大学
10月講座もぜひ！

「懷徳堂ってすごい！」と思った人は、ナカノシマ大学10月講座「懷徳堂スーパースター列伝」もお聞きのがしなく、湯浅邦弘先生が釈徹宗先生と共に、懷徳堂が生んだ逸材たちを紹介しながら、知られざる大阪の歴史を紐解いていきます。今月号の特集が、さらに面白くなること間違いなし。お申し込みはナカノシマ大学ホームページ (<http://www.nakanoshima-univ.com/>) から。もしくはP10の宛先まで！

(財)大阪21世紀協会
事業活動に関するお知らせ

OSAKA 水上音楽パレード2010 を開催します!



昨年に引き続き、今年も大阪市内の河川を航行する全種類の船舶によるパレードを実施します。水都のシンボルとなるような催しとして、また高校吹奏楽部の発表の場として、秋の恒例行事に定着していくことを目指しています。(水都にぎわい創出プロジェクト2010:連携事業)

10月3日(日)

●2:00PM 八軒家浜
開会セレモニー：競艇選手によるデモ走航など

●2:30PM 八軒家浜
水上パレード：大阪市内の河川を航行する約40隻の船舶が参加
船上及び八軒家浜桟橋で吹奏楽の演奏

●4:15PM～5:30PM 道頓堀川
高校吹奏楽部と地元イベント
「湊町船着場Jazzライブ」によるジョイント演奏

主催／NPO法人大阪水上安全協会、財団法人大阪21世紀協会 協力／大阪府吹奏楽連盟 住之江競艇運営協議会
問合せ／財団法人大阪21世紀協会 事業チーム(加藤、山本) TEL.06-6942-2004

インテリジェントアレー専門セミナー

「都市文化論～文化によるまちおこし活動の理論と実践～」 受講者募集を開始!

開催日時／2011年1月～3月 隔週木曜7:00PM～9:00PM(全6回)
会場／キャンパスポート大阪(大阪市北区梅田1-2-2 400号 大阪駅前第2ビル4階)
参加料／6講座通し18,000円(1講座ごとの受講：4,000円/講座)

※申し込み方法の詳細等は特定非営利活動法人関西社会人大学院連合のホームページに掲載しています。
(http://www.kansai-auae.jp/top_seminar/)

●第1回 1月13日(木)
河島伸子(同志社大学経済学部教授)
「欧米諸国の文化政策から学べること」

●第2回 1月27日(木)
小島多恵子(サントリー文化財団主任研究員)
文化が地域を創る－サントリー地域文化賞受賞者の活動事例から

●第3回 2月10日(木)
初谷 勇(大阪商業大学総合経営学部、同大学院地域政策研究科教授)
都市文化政策と地域ブランディングー当事者の役割

●第4回 2月24日(木)
山崎 亮(株studio-L 代表取締役)
市民による公共空間のマネジメントについて

●第5回 3月10日(木)
藤原 明(りそな総合研究所新規事業戦略部プロジェクト・フェロー)
「経済」と「文化」の戦略的協働による地域活性化

●第6回 3月24日(木)
堀井良殷(大阪21世紀協会理事長)
大阪の町人文化に学ぶ：懐徳堂や心学の精神とまちおこし

問合せ／財団法人大阪21世紀協会 事業チーム(森) TEL.06-6942-2004 FAX.06-6942-5945



ナカノシマ大学
NAKANOSHIMA UNIVERSITY

21世紀の
懐徳堂
プロジェクト

2010年
11月講座

「京阪沿線文化サミット in 中之島」 橋爪紳也 (大阪府立大学教授) & 京阪沿線カルチャーを語る会

なぜ今まで語られなかったのか。
京阪電車開業100周年、ウェルカムバック菊人形…
京阪沿線カルチャーを考え、盛り上げる会議！

1世紀の歴史を誇る京阪電車とその沿線。ひらかたパークをはじめとする集客・商業施設、香里園や樟葉などの良好な住宅地や文教都市。さらには、戦後日本を代表する企業を持ちながら、京都・大阪という二大都市の吸引力と話題性が強すぎるせいか、一つのまとまったイメージや文化論として語られる機会は少なかった。

ならば、みんなで作っていこう！ 大阪の都市文化の専門家で、「京阪沿線学」を提唱しておられる橋爪先生を講師兼コーディネイターに、沿線主要自治体の関係者や街づくりに携わる人々を京阪沿線カルチャーを語る会としてゲストに迎え、わが街の魅力やイメージ戦略への取り組みを語ってもらう。

新たな視点で「京阪沿線カルチャー」を提言できれば、これからの100年のヒントになる、か？



1910年の開業時。



菊人形展は1912年から枚方へ。



京阪の名物車両、テレビカー。

募集要項

「京阪沿線文化サミット in 中之島」

講師／橋爪紳也 (大阪府立大学教授)
ゲスト／京阪沿線カルチャーを語る会
日時／11月15日 (月) 7:00PM ~ 8:30PM (開場6:30PM ~)
会場／追手門学院大阪城スクエア 地図→P23
定員／200名 受講料／1,500円
主催／ナカノシマ大学事務局
協賛／関西電力株式会社 追手門学院
協力／大阪21世紀協会 京阪電車

お名前・ご住所・電話番号を明記の上、下記までハガキ、ファックス、もしくはHP内の応募フォームからお申し込みください。ハガキ、ファックスについては、複数名でご参加希望の場合は、人数分の必要事項を明記してください。ハガキ、ファックスでお申し込みの方は、講座名を必ずお書き添え下さい。

〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
「ナカノシマ大学11月講座」受付係 FAX.06-4799-1341

※先着順で受付を確認し次第、順次、受講票をお送りします。
※定員に達した時点で申し込みは締め切らせていただきます。

ナカノシマ大学の最新情報は

<http://www.nakanoshima-univ.com>

ケータイからは
こちら！→



お問い合わせ ☎06-4799-1340
(ナカノシマ大学事務局)



ナカノシマ大学 講義レポート

8月26日(木)

「目指せ! ビルマニア養成講座」

◎丹平ビル 講師/BMC(ビルマニアカフェ)



戦 後復興期から高度成長期にかけての「戦後建築」をこよなく愛するグループ、BMC(ビルマニアカフェ)を講師に迎えたナカノシマ大学8月講座。1958年(昭和33)築の丹平ビルを会場に、戦後ビルの観賞法、体感のし方、愛で方、遊び方がみっちり伝授された。

「近代建築の保存・再利用が進んでいるのに比べ、戦後建築への関心はまだま

だ低い」と、BMCのリーダーで建築家の高岡伸一さん。「建設ラッシュの中で安く早く建てられた無機質なハコ」の印象が強いが、実は見所は多いという。

たとえば、細長く連なる「水平連続窓」。ビルの角で控えめに主張する「袖壁」。さまざまな色や形の「ガラスブロック」。どこかごこちない「サインやロゴ」…。どれも微妙な差異ではある。けれど、「京都の町家を見て『似たり寄ったりで面白くない』とは誰も言わない。戦後ビルはいわば戦後版の町家なんです」。

続 いてメンバーたちが独自の観賞法と「萌え」ポイントを解説。「大通りに建つ大型ビルの威容」「階段室のたたずまい」「タイルの装飾」「アールを描くデザイ

ン」。テーマごとに「名ビル」の写真を掲げつつ熱く語る。そして、こうした戦後ビルの魅力を体現しているのが、会場の丹平ビルだと高岡さん。街の風景に溶け込んだ知られざる価値を再発見する講座となった。



「戦後建築の魅力を見直し、どんどん使っていこう」と高岡さん(左)。会場ではBMCが発行する冊子『月刊ビル』も販売され、好評を博した。

「自分で選ぶ」がん治療についての講演会です。

がんの標準的な治療法には「手術」「抗がん剤治療」「放射線治療」などがありますが、「免疫細胞療法」は第4のがん治療と認められ始めており、人間にもともと備わっている免疫の力を利用し、がんを狙い撃ちする免疫力を強化させる治療法です。

今はそれぞれの患者が治療法を選択する時代です。そのためには、まず治療法をよく知ることが大切。選択枠の一つとして、免疫細胞療法への理解を深めて欲しい。樹状細胞療法の基礎と特徴そして症例報告についてお話しいたします。



講師/三石瑤子

(医療法人クリニックサンルイ院長)

京都府立医科大学卒業後、ルイ・バストゥール大学医学部(仏)で8年、UCLA医学部外科学(米)で12年間移植免疫学の臨床と基礎の研究。帰国後、7年間ルイ・バストゥール医学研究センターでインターフェロンを用いる免疫療法の臨床研究。3年前より現職。



医療法人
クリニック
サンルイ

〒607-8011 京都市山科区安朱南屋敷町35
木下物産ビル(山科ラクトD棟)4階
Tel.075-583-6866 <http://www.cslk.jp>

第23回 最先端がん治療公開講座

免疫細胞療法セミナー

申込者募集
参加費無料

「樹状細胞ワクチン療法の飛躍的進歩」

～免疫細胞療法からみたがん治療への明るい展望～

日時/10月19日(火)

6:30PM～(開場 6:15PM)

会場/大阪大学中之島センター2階・講義室1→地図P23

定員/50名(先着順・要申し込み)

受講料/無料

事務局/テラ株式会社セミナー事務局

お申し込み・お問い合わせ/

Tel.075-583-6866

Fax.075-583-6857 E-mail.cslk-1019@tella.jp

大学5回生を終えた春休み、私は約1カ月間のヨーロッパ旅行に出かけた。前半の2週間はデンマークでホームステイ、後半の2週間あまりは行き先未定というプチ放浪だった。

前半をデンマークにしたのは、父の影響である。父は私が7歳のとき、WHOへの派遣で、麻酔を学ぶために1年間、デンマークに留学していた。当時、WHOの麻酔研修センターがコペンハーゲンにあったからだ。

父は日本に残した家族にいろいろなものを送ってくれた。私にはパラシュートつきのロケットやレゴ、日本ではあり得ない精巧な動物や騎士のミニチュア人形などである。帰国後も、カラーのスライドで異国情緒満点の街並みや自然の風景を見せてくれた。だから、私にとって、デンマークは子どものころから憧れの国だったのだ。

どうせ行くならホームステイにしようと思い、旅行会社に問い合わせたが、アメリカやイギリスならまだしも、デンマークのホームステイなどないと言われた。そこで、ダメもとで東京のデンマーク大使館に電話をかけると、デンマーク観光協会というのがあると教えられた。そちらに訊ねると、「ファームハウスホリデイ」という農家に滞在するプランがあるとのことだった。

現地に資料を請求すると、パンフレットが送られてきた。青い空、緑の森、黄金の草原、ニ

ッコリ微笑むデンマーク美人。写真を見るだけで胸が弾んだ。私はパンフレットのなかからアンデルセンの故郷オーデンセに近いフューン島の農家を選んだ。デンマークのほぼ中央で、国内のどこに行くにも便利そうだったからだ。

現地の旅行会社を通じて、ホストファミリーと手紙のやり取りをして、私は生まれてはじめての海外旅行に出かけた。

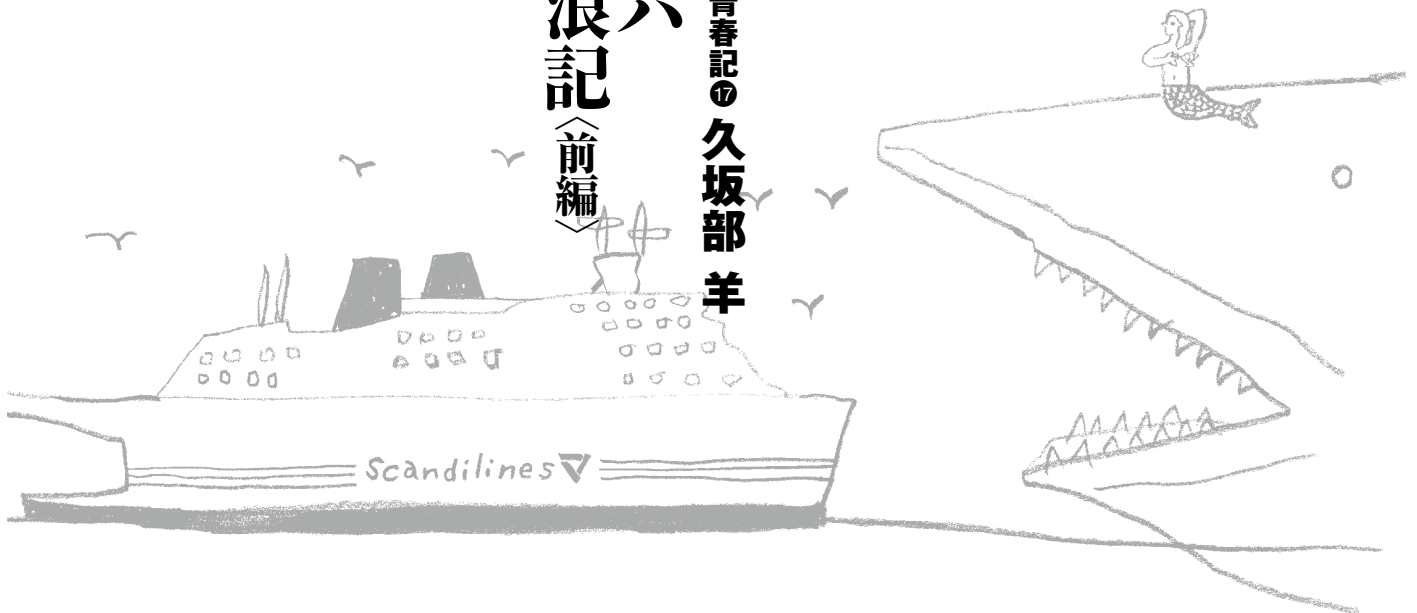
と、その前に逸話がある。

旅行を計画中、私にはひとつの気がかりがあった。笑われるかもしれないが、飛行機が落ちないかという心配だ。そこで私は、ある願掛けをした。もし、私の乗った飛行機が落ちる運命にあるなら、高校のときにつき合っていた2歳年下の元カノに、出発前にもう

一度会わせてほしいと、神サマにお願いしたのだ。その彼女とは、大学に入ってから多少の未練を残しつつも自然消滅していた。5年近く音信不通だったので、よほど神サマの配慮でもないかぎり、会えるはずはないと思っていたのだ。

ところが出発の2カ月前、高校の同窓会に行くと、彼女のクラスも同窓会があったらしく、二次会の会場でばったり出会ってしまった。そんな偶然があるだろうか。私は恐怖のあまり、

中之島から青春記の久坂部羊 ヨーロッパ プチ放浪記〈前編〉



懐かしさも忘れて凍りつき、ろくに挨拶もせず
にその場を逃げ出した。

それでも私は計画を中止せず、日本を飛び立
った。願掛けを無視したわけではない。同じ落
ちるなら、せめて旅行を楽しんだ帰りにしてく
ださいと、心の中で祈りながら出発したのだ。

大阪からソウル、アンカレッジ、パリを経由
して、何とかコペンハーゲンに着いた。パリま
では乗客に日本人もいたが、そこから先は一人
だった。日本を出発して約32時間。はじめての
外国で、右往左往しながら荷物を受け取り、見
よう見まねで入管手続きをすませた。空港から
バスで市内に向かうと、むかし父のスライドで
見たクリスチャンボー城や国会議事堂がそのま
まの姿であって感激したが、ゆっくり景色を楽
しむ余裕はなかった。

中央駅に着いて、ホストファミリーに電話を
すると、最寄りのニューボアという駅まで迎え
に行くと言ってくれた。私は電話が通じてほっ
とした。もし連絡がつかなかったら、泊まるこ
ころもなく、完全な迷子になってしまうからだ。
電車の切符もうまく買え、コンバートメントに
乗り込むと、私は疲れと時差で、ぐっすり眠り
込んでしまった。

ふと目を覚ますと、電車が止まっている。車
庫のようなどこかに入っている。コンバートメ
ントの客もいない。寝過ごした！ 私は青くな
って飛び降りたが、よく見ると、それは船の中

だった。コペンハーゲンのあるシェラン島から、
フューン島へ渡るフェリーに電車ごと乗ってい
たのだ。

ニューボア駅では首尾よくホストに出会え、
車で20分ほどの自宅に連れていってくれた。2
階建ての大きな農家だ。私は玄関横の8畳ほど
の部屋を与えられ、ようやく安心して旅装を解
いた。

ホストファミリーは、夫婦に小学生の男子
が2人だった。到着したのは現地時間の午後7
時ごろで、さっそく夕食になった。メインはロ
ーストチキン。食後にデザートとコーヒーも出
て、そのあと暖房やシャワーの使い方の説明を
聞いて、私の長い1日はやつと終わった。

3日後、旅行会社への支払いのために、町へ
連れて行ってもらった。そのあと自由行動にし
てもらい、あたりをぶらついた。

自由になってまずしたことは、ポルノ雑誌の
購入である。当時の日本は性の解放がまった
くされていず、海外から入ってくる雑誌も局部
を墨ベタで塗られていた。斜めに透かすと見え
るとか、墨はバターを塗って拭くと取れるとか、
さまざまな噂はあったが、どれもガセだった。
北欧と言えば、フリーセックス。それが当時の
私のイメージだった。

さっそく本屋をさがしたが、見つからない。
ところが、なんとスーパーで目当ての雑誌が売
られていたのだ。小さい子どもも出入りするス

ーパーで、こんな淫らな雑誌を売っていいのか。
私は疑念に駆られつつも、迷わず数冊買い込み、
レジに行った。そのとき、レジ係のオバサンに、
「Do you need a plastic bag?」と聞かれ、顔
が真っ赤になった。むき出しでは持って帰れな
いでしょうと見透かされた気がしたのだ。この
とき、レジ袋を英語で「プラスチック・バッグ」
というのをはじめて知った。

数日後、ホストの車でコペンハーゲンに行っ
たときも、一人になってから目をぎらつかせ
てポルノショップに行った。雑誌、フィルム、
グッズなど何でもありだったが、壁に日本語
で、『ポルノあります』と書かれているのを見て、
冷水を浴びせられた思いがした。そんなに日本
人はポルノショップのお得意さまなのか、と。

コペンハーゲンでは、おもちゃ屋にも行った。
しかし、子どものころに胸をときめかせたよう
なおもちゃはなかった。むしろ日本のおもちゃ
のほうがよほどレベルが高かった。日本ではト
ランスフォーマーやガンダムなどの精巧なおも
ちゃがたくさんあって、デンマークのそれをは
るかに凌駕していたのだ。

そう言えば、ホストファミリーの家に着いた
夜、子どもたちに変身ロボットをお土産に渡し
たら、歓声をあげて喜んでた。その日の輝
きは、きつと7歳のときの私と同じだったろう。
わずかの間に日本は発展したのだ。しかし、な
ぜか私の気持は複雑だった。

くさかべよう 1955年生まれ。大阪大学医学部卒業。

麻酔医、外科医、在外公館での医務官としても勤務した後、2003年『廃用身』（幻冬舎文庫）でデビュー。

現代医療への提言と生きること・死ぬことについて考える

契機に満ちた作風が人気を呼び『破裂』は10万部を超えるヒットに。

『Voice』誌の1月号から連載していたコラムを、今年12月で終了することにしました。

ネタさがしが大変なのと、医療評論のようなことより、やはり小説を書くほうが好きなので

21世紀の懷徳堂プロジェクト

10月の時間割 ナカノシマ大学ほか、中之島周辺の「学びの場」の時間割をご紹介します。



レクチャー&対話プログラム「ラボカフェ」

読書・哲学・鉄道など、毎月リアルタイムなテーマでカフェ風ワークショップを行っている、京阪電車中之島線なわ橋駅地下1階の「アートエリアB1」。10月のラインナップはこんな感じ。

6	水	7:00PM～9:00PM	ミュージックカフェ「1000人で音楽をする?!」 定員:30名
10	日	3:30PM～4:30PM	マンガカフェ「大阪のまちと手塚治虫」 定員:50名
13	水	7:00PM～9:00PM	中之島哲学コレージュ／哲学カフェ「クジラを食べてもよいのか?」 定員:50名
14	木	7:00PM～9:00PM	シアターカフェ「東京公演に興味のある関西の若手劇団のためのトーク」 定員:30名
22	金	7:00PM～9:00PM	中之島哲学コレージュ／セミナー「人が病み、治るとはどういうことかーホメオパシーにおける生命観」
26	火	7:00PM～9:00PM	鉄道カフェ「鉄カフェをみんなで考える18」 定員:30名
27	水	7:00PM～8:30PM	学生プレゼンテーション「阪大生による駅でのアートイベントの可能性」 定員:50名

会場／アートエリアB1 参加費／すべて無料 開場／それぞれ開始30分前から 問い合わせ／[カフェの内容について]大阪大学コミュニケーションデザイン・センター(CSCD) ☎06-6850-6632 [場所などについて]アートエリアB1 ☎06-6226-4006 ※内容は予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

追手門学院大学エクステンションカレッジ

追手門学院大学は中堅管理職の育成をお手伝いします

主催：追手門学院大学

後援：茨木商工会議所・高槻商工会議所
吹田商工会議所・日本IBM(株)
(社)ソフィア・イノベーション

ビジネスマンの経営能力向上講座

当講座は、経営戦略、業務改革について多面的にご理解いただくためのマネジメント講座であり、企業変革のありかたを経営者と同じ目線で把握し具体的に行動できる力を身につけることを目的に、企業の中堅管理職、将来の幹部候補生の方々を対象に開催いたします。

月日	時間	テーマ	講師
10/30 (土)	10:00～12:00	マーケティング論	川島隆志 (株)JMRサイエンス 取締役
	13:00～15:00	財務・会計論	佐藤真理 経営コンサルタント、中小企業診断士 中小企業基盤整備機構チーフ・アドバイザー
	15:30～17:30	技術経営論	黒目哲児 追手門学院大学 教授、(株)アイテシー 代表取締役 社長、(社)ソフィア・イノベーション 副理事長
11/6 (土)	10:00～12:00	人材開発論	船越伴子 (株)ヒューマンラボ 取締役
	13:00～15:00	ビジネスモデルイノベーション論	登坂一博 ビジネスイノベーション・コンサルティング 代表
	15:30～17:30	経営戦略論	酒井哲夫 追手門学院大学 客員教授、BBT大学教授、コムチュア(株) 社外取締役、(社)ソフィア・イノベーション 理事長
	17:30～19:00	懇親会	

会場：追手門学院大阪城スクエア

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-3-20
(追手門学院大手前中・高等学校本館6階)
(地下鉄谷町線「天満橋」駅・京阪「天満橋」駅下車、東へ徒歩7分)
<http://otemon-osakajo.jp>

定員：30名

受講料：お1人様 30,000円

※受講申込みについて

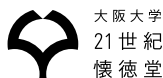
TELまたはFAXにて住所・氏名・電話番号等をお伝えください。受講料の振込用紙を送付します。

申込締切

2010年
10/15(金)

お申込み・お問い合わせ先 ▶ 追手門学院大学 学長事務室 TEL: 072-641-7749 / FAX: 072-643-5742

追手門学院大学エクステンションカレッジ：パンフレットPDF ▶ <http://www.s-i.jp/otemon/oec2010-01.pdf>



大阪大学
21世紀
懷徳堂

大阪大学21世紀懷徳堂

●21世紀懷徳堂 植物探検隊 普段は一般開放されていない待兼山の自然観察会です。

9・23

土 1:30PM～
3:30PM

「第4回植物探検隊@秋の待兼山を訪ねて」栗原佐智子(大阪大学出版会)

会場／大阪大学豊中キャンパス隣接の待兼山、大阪大学総合学術博物館セミナー室 参加費／各日とも無料
申し込み・問い合わせ／大阪大学21世紀懷徳堂 ☎06-6850-6443

●Handai-Asahi中之島塾 大阪大学が朝日カルチャーセンターと共催しているセミナーです。

16・11/6

土 10:30AM～
00:00PM

「知っておきたい目の病気の話」三木篤也(大学院医学系研究科助教授) 受講料:3,150円(全2回)

会場／大阪大学中之島センター 申し込み・問い合わせ／朝日カルチャーセンター(中之島) ☎06-6222-5224 <http://www.asahi-culture.co.jp/index.html>

●第42回大阪大学中之島講座「いまを読み解く—医療・都市—」 9月～12月に全14講座を開催。10月は下記のとおり、4講座を開催。

29

金 6:30PM～
8:00PM

「ジェイン・ジェイコブズ『アメリカ大都市の死と生』周辺」河田潤一(大学院法学研究科教授)

会場／大阪大学中之島センター 受講料・申し込み方法など詳細は、大阪大学21世紀懷徳堂 ☎06-6850-6443にお問い合わせください。
http://21c-kaitokudo.osaka-u.ac.jp/nakanoshimakouza_h22/でもご覧いただけます。

●大阪大学×大阪ガス アカデミックッキング 大阪大学21世紀懷徳堂と大阪ガスクッキングスクール共催の講座です。

11/10

水 6:30PM～
9:00PM

「トルコ人の知らないトルコ音楽とトルコ料理」伊東信宏(大学院文学研究科教授)

料理が開く、学問のトピ。～「専門分野の講義」&「料理実習」で「学問するココロ」が実践的に身につきます。会場／大阪ガスクッキングスクール千里
受講料／1,500円 申し込み・問い合わせ／大阪ガスクッキングスクール千里 ☎06-6871-8561 <http://www.og-cookingschool.com/>

追手門学院大学経営学部 設立15周年記念

追手門学院大学経営学部は企業との連携を高めます!

経営学部は15才
新しい経営学を学びます

経営・会計・
ビジネス法学・
国際マーケティング・
情報マーケティング・
起業マーケティング

ビジネス心理メジャー
もあるよ

エグゼクティブのための 経営力革新フォーラム 2010

日本を代表するリーダーが語る、経営イノベーションを
企業の経営者が学ぶことにより、企業の経営革新のあり方を見出す短期経営力革新フォーラム

月 日	時 間	テーマ	講 師
11/19 (金)	10:00 ～ 12:00	日本の経営精神	加護野 忠男氏 神戸大学 経営学部 教授・経営学博士
	13:00 ～ 15:00	日本 IBM の経営改革	北城 恪太郎氏 日本 IBM 株式会社最高顧問、国際基督教大学 理事長、経済同友会 終身幹事、国家公務員倫理 審査会 委員、ngi group 株式会社取締役
	15:30 ～ 17:00	コーチング革命 スポーツにおけるマネジメント・イノベーション	平尾 誠二氏 神戸製鋼ラグビー部 総監督、(財)日本サッカー 協会 理事、NPO 法人スポーツ・コミュニティー・ アンド・インテリジェンス機構(SCIX)理事長
	17:30 ～ 19:00	懇親会	

会場：追手門学院大阪城スクエア

〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-3-20
(追手門学院大手前中・高等学校本館 6 階)
(地下鉄谷町線「天満橋」駅・京阪「天満橋」駅下車、東へ徒歩 7 分)
<http://otemon-osakajo.jp>

定 員：50 名

受 講 料：お 1 人様 50,000 円

※受講申込みについて
TEL または FAX にて住所・氏名・電話番号等をお伝えください。受講料の振込用紙を交付します。

申込締切

2010 年
11/9(火)

主催：追手門学院大学経営学会／共催：(社)ソフィア・イノベーション／後援：茨木商工会議所・高槻商工会議所・吹田商工会議所・日本 IBM(株)・SAP ジャパン(株)

お申込み・お問い合わせ先 ▶ 追手門学院大学 学長事務室 TEL: 072-641-7749 / FAX: 072-643-5742

エグゼクティブのための 経営力革新フォーラム 2010：パンフレット PDF ▶ <http://www.s-i.jp/otemon/oef2010-01.pdf>



大阪カルチャークラスター!!

大阪カルチャークラスター!! (OCC!!) では、大阪にあるカフェやギャラリーなどで
独自に企画・運営を行っている講座・ワークショップを一堂に集め、紹介していきます。

8	金	7:30PM~ 9:00PM	「キング・ふしぎ発見!〜エルヴィス・プレスリーのすべて〜」国木田かつば (俳優・タレント) 会場A
9	土	5:00PM~ 7:00PM 終了後交流会あり	「奥村昭夫デザインワークショップ」奥村昭夫 (グラフィックデザイナー) 受講料:3,800円 会場B
10	日	1:30PM~ 6:00PM	「小さな三日月のぬいぐるみ作り」IRIIRI (人形作家) 参加費:3,675円 (お茶とお菓子付) 会場D
11	月	11:00AM, 2:00PM, 5:00PM (3回から選択)	「陶芸入門・マイ茶碗を作る!」辻 久悟 (陶芸教室「Room Room」代表) 参加費:各回5,000円 会場F
16	土	1:00PM~ 3:00PM	「『沖縄ディープインパクト食堂』『日本の島で驚いた』発刊記念 カベルナリア吉田トークショー」会場G
16・17	土日	1:00PM~ 3:00PM	「お月見アイシングクッキーを作ろう」nicohoho (デザイナー) 参加費:2,625円 予約締切日:10/8 会場D
17	日	10:15AM~ 1:15PM, 2:00PM~ 5:00PM	「トリ・スクール「抽象絵画」」岡山 拓 (美術家) 受講料:2,500円 (1ドリンク付) 会場E
23	土	3:00PM~ 5:00PM	絵本講座 PEEK-A-BOOK・「かわいいコラージュ絵本を作ろう〜」杉かおり 参加費:3,500円 会場F
24	日	11:00AM~ 0:30PM, 2:00PM~ 3:30PM	「マクロビオティックサロン」豊村恵子 (料理研究家) 受講料:各回2,000円 (料理費込み) 会場C
26	火	7:30PM~ 9:00PM	「スティグレル『愛するということ』を読む」江弘毅 (月刊島民編集長) × 山納洋 (common cafe) 参加費:1,500円 会場A
30	土	0:00PM~ 3:00PM 1:00PM, 3:00PM, 5:00PM (3回から選択)	「おいしい野菜の選び方」西村和雄 (自然農法国際研究開発センター理事) 参加費:3,500円 (ランチ付) 会場F 「1枚の紙が指輪に変身!ペーパーリング教室」injan (ペーパークラフト作家) 参加費:各回830円 会場D

A common cafe ☎06-6371-1800 B OOO (オー) ☎06-6362-5150 C 中崎町サロン文化大学 <http://nakazakicho-u.blogspot.com/>
D タビエスタイル ☎06-4963-7450 E 欧風食堂 ミリパール ☎06-6531-7811 F 鳥かごキッチン ☎06-6531-7827
G スタンダードブックストア ☎06-6484-2239

鷺田清一 内田樹

ナカノシマ大学
1周年記念出版

『おせっかい 教育論』

◎全国の書店にて絶賛発売中

四六判並製 / 224ページ

¥1,200+税

お問い合わせ / 株式会社140B

☎06-4799-1340



昨年10月1日に行われた
ナカノシマ大学キックオフ
記念セミナーを含む、
奇跡の2夜物語座談会 &
4人の書き下ろしを収録!

釈徹宗 平松邦夫



関西電力の
CMでもおなじみ

三つ星レストラン・シェフ/

アラン・デュカスのひと皿フレンチ

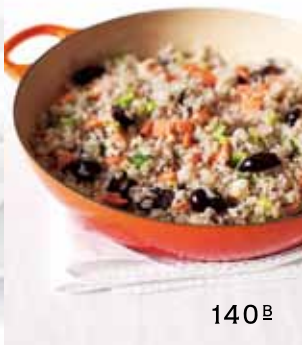
いつもの食材で、お家のキッチンで、
本格フレンチが手軽に作れます。

LECON 日本版
ルッソン★

「お米」「魚」同時発売中!

各1,260円(税込)

お近くの書店でお求めください。



140B

10月限定メニュー

国産木の子と栗のココット

5種類の木の子と栗を、ココットで
焼き上げました。自家製パンチェッ
タの旨みとマスタードを効かせたソ
ースが素材の味をよく引き立て、秋
の味覚を存分にお楽しみいただけ
ます。

¥1,700 (税込・サ別)

※コースに組み込むこともできます。

●2周年特別コース

オープン2周年を記念して、特別コ
ースを期間限定でご用意いたします。

¥7,000 (税込・サ別)

期間：10月1日(金)～11日(月)

ル・コントワール・ド・ブノワ

大阪市北区梅田2-4-9

ブリーゼブリーゼ33F

☎06-6345-4388

<http://www.comptoirbenoit-osaka.com/>

ランチ11:00AM～2:30PM (L.O)

カフェ2:30PM～4:00PM (L.O)

ディナー5:00PM～9:30PM (L.O)

不定休



秋は
料理の味が
「深く」なる
季節です。

LE COMPTOIR
de
BENOIT
OSAKA

街から眺める夜の高速道路が楽しい風景になるということを、建設当時の人々の想像にあったのだろうか。高速道路はそもそも見られることを考えて造られた構造物ではなく、高度経済成長期の嵐の中で、街にどんな姿を見せるのかなど考える余裕がなかったのは当然のことだ。しかし今ではライトアップされるような存在になっている。

阪神高速は1970年の大阪万博開催に合わせて整備された。建設当時、高速道路ができあがっていく様子は「未来」や「発展」の象徴として人々の眼には映っていただろう。しかし万博が終わり、やがて浮上してきた都市景観問題の中でずっと街の中心部に居座る阪神高速は、他の高速道路の例にもれず批判の対象になった。

そんな世論を受け、その存在感を少しでも減らすように昭和50年代には橋脚や桁には灰色の着色が施され風景の中で目立たないような努力がなされたという。しかし阪神高速が大阪の風景の中でもすっかり古株となってしまうた今、高速道路の風景を否定するのではなく、受け入れてそれをできるだけ楽しもうという姿勢がライトアップから伺える。

川の上に走る高速道路の橋脚がライトアップされている事例は全国でもそう多くはない。阪神高速については、2008年12月の光のルネサンス開催



に合わせて、堂島川の鉾流橋から中之島ガーデンブリッジの区間で行われた。この場所がライトアップされるに至ったのはいくつかの要因が重なっている。江戸期に掘削された縦横に走る川を持つ大阪市内は、高速道路の建設には最適なポテンシャルを持っていた。環状線を通すのに南北に走る西横堀川は埋め立てられ、東横堀川も水にフタをするように上に通されたのだが、東西



方向となる堂島川は川幅が広いため水面の上がフタをされることもなく、南側の対岸から眺めることもできる「引き空間」が期せずして得られた。また京阪電車中之島線の開業によって対岸に遊歩道が整備され、水面越しに眺めることのできる「視点場」ができたことも、ライトアップのための舞台が用意された要因だ。

もう一つは照明技術やLEDの性能が大幅に進歩したことだ。設置を担当したパナソニック電工エンジニアリングによれば、季節や時間帯で容易に色を変える演出が可能になり、メンテナンスコストが抑えられるようになったという。

こうしていくつかの要因が重なった

中之島へ光を見に行く。
vol.5

阪神高速道路 橋脚

取材・文／花村周寛
(ランドスケープデザイナー)

取材協力／阪神高速道路株式会社
パナソニック電工 パナソニック電工エンジニアリング
大阪・光のまちづくり企画推進委員会
関西電力株式会社

今月の スポットライト!

実は水面近くの部分にこんなLEDのライトアップ器具が取り付けられている。橋脚に穴を開けたりすることはできないため、LEDの器具をバンドで橋脚に巻いて固定し、そこから光が伸びるようにして設置されている。季節によって色が変わり、秋から冬の間はオレンジ。



結果生まれた文字通りの「脚光」を阪神高速は今浴びている。この脚光の中に我々が学べることは風景の意味や価値は決して固定されたものではなく、時代がそれを決めているということなのだ。だからもしかすると目の前の何気ない風景も将来脚光を浴びる可能性だってあるかもしれないのだ。

トウニン月報

2010年10月1日発行

2005年、惜しまれつつその歴史に幕を閉じたひらかたパークの大菊人形展が、今秋限定で復活する。今年は京阪電車開業とひらかた大菊人形が100周年を迎える節目の年。大河ドラマで人気の「龍馬伝」をテーマに、激動の幕末を駆け抜けた龍馬の生涯を、全11場面、菊人形20体で豪華に再現する。

また、写真コーナー（一部有料）もあり、当日は心ゆくまで龍馬ワールドを堪能できそう。同時に、「ひらかた大菊人形100年の歴史展」も開催され、過去の名場面がパネルで楽しめたり、人形の骨子となる胴殻が展示されたりと伝統文化としての菊人形を知るにも絶好の機会。京阪沿線の代名詞とも言えるべきイベントに、沿線以外の人もぜひ足を運んでほしい。（田井麻希・本誌）

中之島を巨大模型で望みよう

津波・高潮が発生した際の西大阪地域の防災拠点であり、災害時の対応を学べる施設でもある「津波・高潮ステーション」。こちらの多目的室では、8月から建築家・安藤忠雄氏が提言し、大阪大学工学部の学生たちと共に制作した中之島の巨大模型が展示されている。この模型は昨年の水都大阪2009や、安藤忠雄建築展でも展示されたもの。1/300のスケールで作られた模型を俯瞰すると、水・緑・建物が調和した中之島という街を改めて再確認できる。新たなランドマークになるであろうフエスティバルタワーなど現在工事中のプロジェクトも模型の中に表現されており、桜の通り抜けやライトアップされた数々の橋の写真と共、中之島の魅力が感じられる展示になっている。（田井麻希・本誌）



巨大模型でみる「水の都」中之島
期間／10月31日（日）まで
月曜日休館（祝日の場合は翌日休）
開館時間／10:00AM～4:00PM
会場／津波・高潮ステーション 多目的室
（大阪市営地下鉄阿波座駅下車徒歩1分）
入場無料

西梅田朝大学が秋学期を開校

最近話題の「朝活」が、フリーゼフリーゼでも楽しめる。今年5月に開校し、大好評のうちに終了した「西梅田朝大学」が秋学期を開校する。西梅田のりバーサイド約5kmのコースを走る朝ランニングやヨガを開催する心体学部のほか、ネイルやハンドケアのレクチャーをしてくれる美人学部、「App le Store Shinsubashi」の専任スタッフが「iPhone4」の機能や新しい使い方を教えてくれる情報学部など、全4学部・9講座を開催。それぞれ開催日時、回数が異なるため、まずはホームページを確認しよう。（田井麻希・本誌）



祝・復活!! ひらかた大菊人形



百周年記念 ひらかた大菊人形「龍馬伝」
期間／10月9日（土）～11月28日（日）
（10月12日、11月23日を除く火曜日は休園）
営業時間／平日10:00AM～5:00PM、土日祝10:00 AM～6:00PM
会場／ひらかたパーク イベントホールI、イベントホールIIの一部
入園料／大人1,700円、子供900円（菊人形観覧料含む）

大阪文化祭賞の受賞者決定

これまでに多くの芸術家、実演家が受賞している「大阪文化祭賞」の今年の受賞者が決定した。（財）大阪21世紀協会が主催するこの賞は、大阪府内で行われた公演を対象に、企画内容やその技法などを審査する。今年のグランプリは大阪発の歌劇団として活動する「OSK日本歌劇団」。また大阪文化祭賞には、筆や三絃で東京フィルハーモニー交響楽団などとも共演した片岡リサ氏らが受賞。贈呈式は8月30日、堂島のクラブ関西で盛大に行われ、OSK歌劇団による受賞作ミュージカルのクライマックスシーンの歌も披露された。（田井麻希・本誌）



西梅田朝大学
期間／10月5日（火）～11月25日（木）
場所／フリーゼフリーゼ1F
メディアコートほか
参加費／無料～500円
（※美人学部を除く）
申し込み方法／
event@breeze-breeze.jpまで、
必要事項を記入のうえお申込みください。
http://www.breeze-breeze.jp

KOURIEN DESIGN

住みよい街の「かたち」を考える
香里園デザイン
取材・文／大迫力（本誌）



01 聖母女学院
香里キャンパスの
長い廊下

この街の誰もが誇りにする、 美しい学びの場。

初めて訪れる誰もが、校舎へと向かう足を止め、息をのんでたたずむ。視線は廊下の奥へ吸い込まれるように注がれる。丁寧に磨かれた床のタイルには、光の筋がきれいに伸びている。

大正12年に創立した聖母女学院が、香里園にやって来たのは昭和7年のこと。校舎の設計は東京女子大学を手がけるなど、近代建築の発展に寄与したと言われるアントニン・レーモンドによる。当時この一帯は「香里の丘」と呼ばれ（「香里園」という地名は京阪電車が料亭や茶屋を誘致して遊園地を整備した名残）、レーモンドは東京から汽車に揺られて何度もこの丘に足を運んだという。

約100mの長さがある廊下のある棟は、ほぼ南北の線に沿って伸びている。1階には職員室など教職員関係の部屋が多いことから、管理棟と呼ばれる。廊下を挟んで反対側の壁沿いには大きなテーブルが置かれ、休み時間や放課後には先生に分らないところを質問する生徒や、生徒同士でお喋りを楽しむ姿がよく見られる。天井の高さも手伝って、ゆったりくつろげる雰囲気がこの長い廊下によって演出されている。

管理棟から東へ向かって、4棟の教室棟が伸びているのも特徴的だ。上から見ると櫛のような、あるいはアルファベットの「E」を反転させたような面白い造



正門を入ると目の前に、白く華やかな校舎が見えてくる。長い廊下はこの玄関に入ってすぐ。



校舎の随所にアーチがモチーフとして取り入れられている。軽快でやさしい印象の要因だ。



管理棟の西側。植わっているのは桜の樹。春になるとこの道が桜のトンネルに変わる。

校舎への愛着が、 学校と地域を結びつける。

聖母女学院では、10年ほど前から地域の人たちに向けて、春の桜の季節とクリスマス時期に、学校を開放するイベントを行っている。「我々の誇りである校舎を、たくさんの人と共有したいという思いからです」と林校長は話す。今ではすっかり恒例行事として心待ちにされるようになり、今年の4月には600人もの人たちが訪れた。茶道部がお茶とお菓子を振る舞ったりコンサートが開かれるなど、生徒と学校、そして地域の人たちが一緒に楽しく過ごしている。

聖母女学院をはじめ香里園には私立・公立を問わず多くの学校が集まり、街とそこに住む人たちの距離が近い。美しい校舎の中で生まれたつながりの場が、街の魅力となり、そしてそれが住みやすさを形づくっていく。



このイメージを寝屋川市を象徴する地域資源の一つにしたんですね。

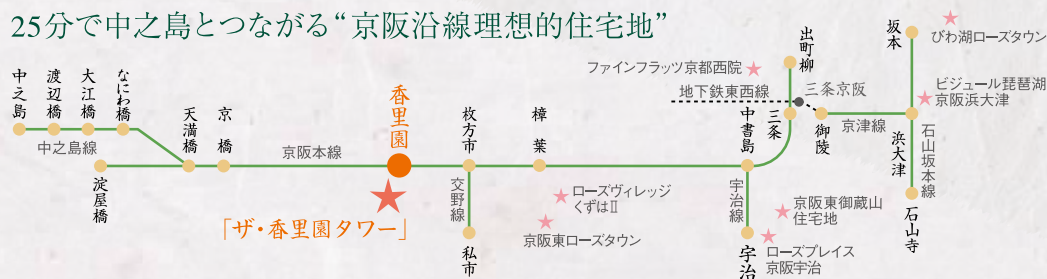
香里園駅の東側には「瀟洒な住宅街」「落ちついて厳かなムード」というイメージがあるとありますが、成田山と並んでここはそのシンボリック存在ですね。香里園だけではなく、このイメージを寝屋川市を象徴する地域資源の一つにしたんですね。

my favorite KOURIEN-DESIGN
寝屋川市役所 経営企画部 ブランド戦略室長
市川克美さん



桜の咲く季節やクリスマスには、一般開放されるので、みんな楽しみにしているんです。

25分で中之島とつながる“京阪沿線理想的住宅地”



こころまち つくろう
KEIHAN
京阪電鉄

シリーズ第1回
香里園



香里園駅前の新しいシンボル「ザ・香里園タワー」

はじまりは香里園。

京阪グループの住宅地開発の歴史は古く、1928（昭和3）年、香里園において土地を販売したのがその第一歩でした。

「京阪沿線理想的住宅地」
「お住居は郊外へ最も良い御住宅地」

これは、1930（昭和5）年6月1日の「大阪朝日新聞」に掲載された広告のキャッチコピー。香里経営地（現「香里園」駅の東側）における宅地分譲の広告で、大阪への足の良さ、日常の生活には不便がないこと、さらに風光の良さをアピールしています。売れ行きもまずまず好調で、京阪の宅地開発が軌道に乗ったことをもの語っています。

その後、1932（昭和7）年には聖母女学院が香里園に移転。調和のとれた住環境とともに文化的な気風を育んできました。昭和30年代には、日本住宅公団による当時「東洋」のマンモス団地と呼ばれた、香里団地が竣工するなど今日まで発展、成長してきました。

そしていま、香里園駅前では「住」「商」「医」複合型の再開発が行われています。京阪のまちづくりを「望めるかのように、地上37階建の「ザ・香里園タワー」がまもなく誕生します。



京阪グループが提供する住まいの情報
<http://www.keihan-kiss.co.jp>

橋を渡って通う人、川を見ながら帰る人、
みんな「島民」です！



京阪電車関連:京阪電車主要駅/京阪シティモール/京阪モール/デリスタ天満橋店/ホテル京阪天満橋/ホテル京阪京橋

公共施設・大学関連施設ほか：大阪市中央公会堂／府立中之島図書館／大阪市役所市民情報プラザ／大阪市中央図書館／大阪歴史博物館／大阪城天守閣／大阪狭山市立図書館／奈良県立図書館情報館／大阪国際会議場／市立住まい情報センター／大阪商工会議所／大阪市社会福祉研修・情報センター／大阪企業家ミュージアム／味の素 食のライブラリー／朝日カルチャーセンター／大阪大学中之島センター／大阪大学本部／大阪大学21世紀館徳意堂／摂南大学地域連携センター／慶應大阪リバーサイドキャンパス／追手門学院 大阪城スクエア／追手門学院 大手前センター／関西学院大学大阪梅田キャンパス／専門学校中の島美術学院／大阪工業技術専門学校／ろうきんギャラリー心斎橋／大阪倶楽部／中央電気倶楽部／芝川ビル／ホテルNCB
／ABC観日放送／大阪フイルムハニー会館

バックナンバーをご希望の方には1冊100円(手数料)でお譲りしております。なお、品切れの号もありますが、予めご了承ください。お問い合わせは下記の電話番号まで。

毎月確実に読みたい方はぜひお申し込みください。郵便振替(口座番号:00990-5-299267)または現金書留にて下記の宛先にお送りください。【料金】5ヶ月/1,000円(2011年3月号まで)

編集・発行人／江 弘毅（編集集団140B）
編集・発行／月刊鳥民プレス
若狹健作 網本武雄（株式会社 地域環境計画研究所）
松本 創 大迫 力（編集集団140B）
〒530-0004 大阪市北区堂島浜2-1-29 古河大阪ビル4階
Tel 06-4799-1340 Fax 06-4799-1341
制作進行／堀西 賢（ALEGRESOL）
デザイン／山崎慎太郎
表紙イラスト／奈路道程
印刷／佐川印刷株式会社